ECLIPSE

地上デジタルTVチューナ

DTV107

取付説明書

090003-2978A700

アドバイス

アンテナ・接続コード別売

必ず接続する商品に合わせて接続キットをお買い求め下さい。

・04年11月以降発売のDTV対応ECLIPSEナビと接続の場合 ➡「DTVL15」地上デジタルTVチューナECLIPSE接続キット

・VTR入力をもつ04年10月以前発売のECLIPSEナビ、他社モニター（RCAもしくはS端子ナビ）等と接続の場合 ➡「DTVR15」地上デジタルTVチューナ汎用接続キット

●DTV107本体（TVチューナ）の推奨取り付け位置はシート下（コード長3.5m）となります。
トランクなどに取り付ける場合は、各種コードの延長が必要となります。
・DTVL15の場合：KW-1206
・DTVR15の場合：各種汎用接続RCAコードなど

取り付けおよび接続を行う前に、必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。指定以外の取付方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。本機の取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げの販売店での取り付けをお薦めします。
「取扱説明書」、「取付説明書」をお読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

販売店様へ

取り付け、接続作業が完了しましたら、この取付説明書をお客様へお渡しください。

●本製品に同梱されているB-CASカードをデジタルTVチューナに挿入する前に、お客様に“B-CASカード使用許諾契約約款”を読んでいただき、承諾していただいた後に“B-CASカード”を台紙から取り出してください。

●B-CASカードは、お客様とB-CAS社との個別の直接契約となります。

もくじ

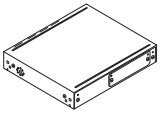
取り付ける前に	構成部品	2
	安全に正しくお使いいただくために	3
	B-CASカードの挿入	4
接続について	接続端子の名称と役目	6
	システム接続例	8
取り付けについて	取り付け概要図	9
	フィルムアンテナの取り付け	10
	TVチューナの取り付け	18

FUJITSU TEN

構成部品

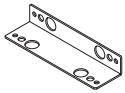
作業前に構成部品が揃っているか確認してください。

DTV107構成部品



①TVチューナ
×1

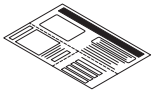
②筐体アースコード
×1



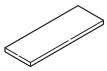
③L型ブラケット
×2

④六角ボルト
（M５×8）×4

⑤タッピングネジ
×4



⑥B-CASカード
×1

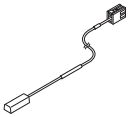


⑦プチルテープ
（42×150）×2

DTVL15構成部品

⑧接続コード
（緑色コネクタ）
×1

⑨フロントアンテナコード（左）
（白色チューブ）　×1



⑩フロントアンテナコード（右）
（緑色チューブ）　×1

⑪フロントフィルムアンテナ（左）
×1

⑫フロントフィルムアンテナ（右）
×1

⑬導電性布テープ
×2

⑭クリーナ（布）
×2

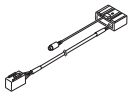
⑮ゴムヘラ
×1

⑯バンドクランプ
×2

⑰ハーネス固定テープ
×1

⑱接続コード
（DIN13P）×1

⑲接続コード
（12P-DIN13P）×1



⑳接続コード
（RGB用）×1

㉑接続コード
（RCA用）×1

安全に正しくお使いいただくために

●この取付説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●本機取り付けのために必ず守っていただきたいこと、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。

アドバイス	本機の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと知っておくと便利なこと、知っておいていただきたいこと

⚠ 警告

●本機はDC12V⊖アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車での使用はしない。火災の原因となります。
●本機を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けしない。交通事故や怪我の原因となります。
●車体に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないよう注意して行う。火災の原因となります。
●車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しない。これらを使用しますと、制動不能や発火、事故の原因となります。
●取り付け作業前には、必ずバッテリーのマイナス⊖端子をはずす。プラス⊕とマイナス⊖経路のショートによる感電や怪我の原因となります。
●コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくと事故の原因となり危険です。
●本機を分解したり、改造しない。事故、火災、感電の原因となります。
●電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止める。電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
●音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。事故・火災・感電の原因となります。
●ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用する。規定容量を越えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。
●万一、異物が入った、水がかかった、煙りが出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談する。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
●エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機の取り付けと配線をしない。エアバッグ動作を妨げる場所に取付・配線すると交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しないため、事故の原因となります。
●ドリル等で穴あけ作業をする場合は、ゴーグル等の目を保護するものを使用する。破片などが目に入ったりして怪我や失明の原因となります。
●接続したコードや使用しないコードの先端など、被覆がない部分は絶縁性テープ等で絶縁する。ショートにより火災、感電の原因となります。

⚠ 注意

●本機の取付・配線には、専門技術と経験が必要です。安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。
●必ず付属の部品を指定通り使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れることがあり危険です。
●雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気、埃、油煙の多いところへの取り付けは避けてください。本機に水や湿気、埃、油煙が混入しますと、発煙や発火、故障の原因となることがあります。
●しっかりと固定できないところや振動の多いところなどへの取り付けは避けてください。外れて運転の妨げとなり交通事故や怪我の原因となることがあります。
●直射日光やヒーターの熱風が直接当たるところなへ取り付けないでください。本機の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。
●本機の通風孔や放熱板、ファンをふさがないでください。通風孔や放熱板、ファンをふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
●取付説明書で指定された通りに接続してください。正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。
●エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤動作する原因となることがあります。
●車体のねじ部分、シートレール等の可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。
●コードが金属部に触れないように配線してください。金属部に接触しコードが破損して火災、感電の原因となることがあります。
●コード類の配線は、高温部を避けて行ってください。コード類が車体の高温部に接触すると被覆が溶けてショートし、火災、感電の原因となることがあります。
●本機の取り付け場所変更時は安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。取り外し、取り付けには専門技術が必要です。
●本機を車載用として以外は使用しないでください。感電や怪我の原因となることがあります。
●フィルムアンテナ及びケーブル・コードをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等の揮発性のもので拭かないでください。表面処理を傷める原因となります。

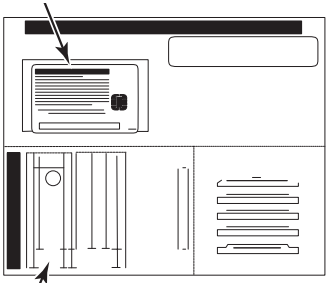
B-CASカードの挿入

アドバイス

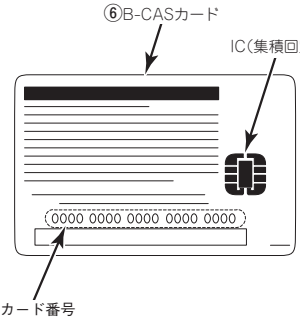
- ●カードの説明書に記載の文面をよくお読みのうえ必ず挿入してください。
- ●B-CASカードを挿入しないとデジタル放送が視聴できません。
- ●「使用許諾契約約款」を、よくお読みください。
- ●バス・タクシーなど、不特定または多数の人の視聴を目的とした業務用途には使用できません。
- ●ダッシュボードの上など、高温になるところにカードを放置しないでください。
- ●カードの不具合と確認された場合は、お客様よりカスタマーセンターにお問い合わせ下さい。修理センターなどでカード交換を行なった際、発生した作業工賃などの費用は、お客様のご負担となります。
- ●地上デジタルテレビ放送は、放送番組の著作権保護のため、2004年4月から原則として1回だけ録画可能のコピー制御信号を加えて放送されています。その信号を有効に機能させるためにB-CASカードが必要です。

－B-CASカードについて－

⑥B-CASカード（添付）
●デジタル放送の視聴のために必要なカードです。



ユーザー登録はがき
●はがきまたはWebでユーザー登録をしてください。
（登録は無料です。）



B-CASカード番号
●有料番組に契約内容などを管理するための大切な番号です。
お問い合わせの際に必要です。
裏表紙の「便利メモ」に記入しておいてください。

－B-CASカード取り扱い上の留意点－

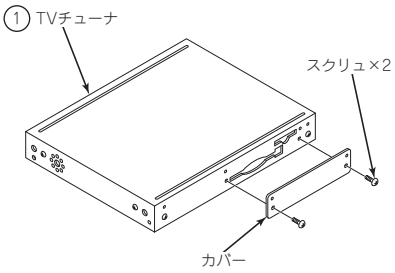
- ●折り曲げたり、変形させない。
- ●重いものを置いたり踏みつけたりしない。
- ●水をかけたり、ぬれた手でさわらない。
- ● IC（集積回路）部には手をふれない。
- ●分解加工は行わない。

－B-CASカードについてのお問い合わせは－

（株）ビーエス・コンディショナルアクセス・システムズ　カスタマーセンター　TEL0570-000-250

－B-CASカードを挿入する－

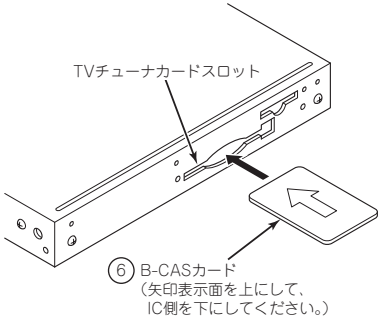
1 TVチューナのカードスロットカバーを取り外す。



2 カードスロットにB-CASカードを矢印表示面を上にして挿入する。

⚠注意

- ●B-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
- ●ご使用中は抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。

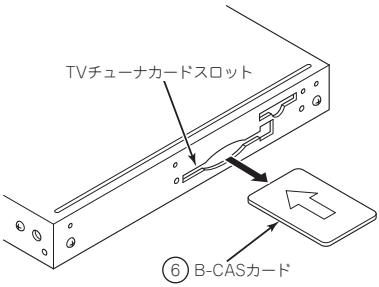


3 TVチューナにカードスロットカバーを元通りに取り付ける。

－B-CASカードを抜く－

1 エンジンを切る。（ACCオフ）

2 ゆっくりとB-CASカードを抜く。



⚠注意

- ●B-CASカードには、IC（集積回路）が組み込まれているため、画面にメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。（詳しくは、取扱説明書をご参照ください）
- ●B-CASカードを抜き差ししたときは、3秒以上経ってから、B-CASカードの動作確認を行ってください。（詳しくは、取扱説明書をご参照ください）

接続端子の名称と役目

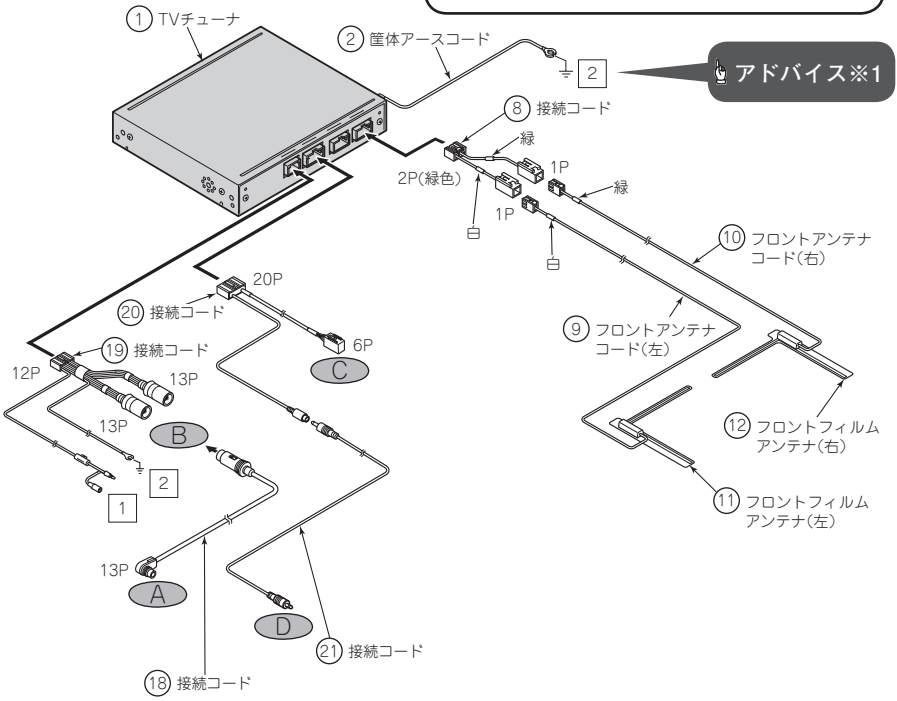
⚠警告

- ●電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止める。電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- ●コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。

－DTVL15との接続－
（地上デジタルTVチューナECLIPSE接続キット使用）

アドバイス

※1　この筐体アースは必ず取り付けてください。取り付けをしないとノイズ等発生する恐れがあります。



アドバイス

- ●接続コード、⑱、⑲、⑳、㉑の線色および接続先、(A)～(D)および用途は7ページを参照ください。
- ●(B)のDINコード（メス側）2本は、同じ機能のためどちらを使用しても問題ありません。

◆接続コード⑱＆⑲＆⑳＆㉑の線色および接続先

1 バッテリー電源端子（黄色）

車のキーに関係なく常時電源が加わっているところに接続します。

2 アースコード（黒色）

車のボディのアースが確実に取れる所へ取り付けます。

A LAN通信端子　13P

別売のメインユニットに接続します。

B LAN通信端子　13P

別売のメインユニットへの接続や、別売のＣＤチェンジャー等と組み合わせる場合に接続します。

C デジタルTV外部接続端子　6P

別売のメインユニットのデジタルTV用外部入力端子に接続します。

D デジタルTV外部接続映像端子（RCA）

別売のメインユニットのデジタルTV用外部入力映像端子に接続します。

⚠注意

- ●著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。
  また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニター出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。
- ●著作権保護された番組を視聴する場合は本製品とモニターを直接接続してください。

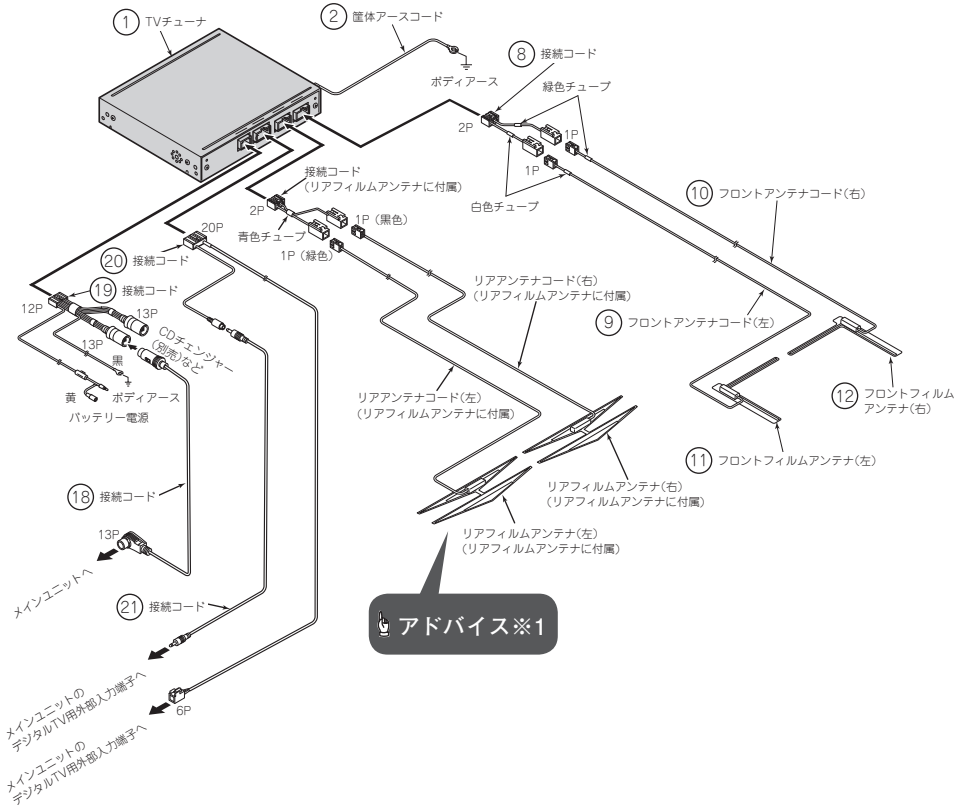
システム接続例

⚠警告

- ●電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止める。電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- ●コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。

アドバイス

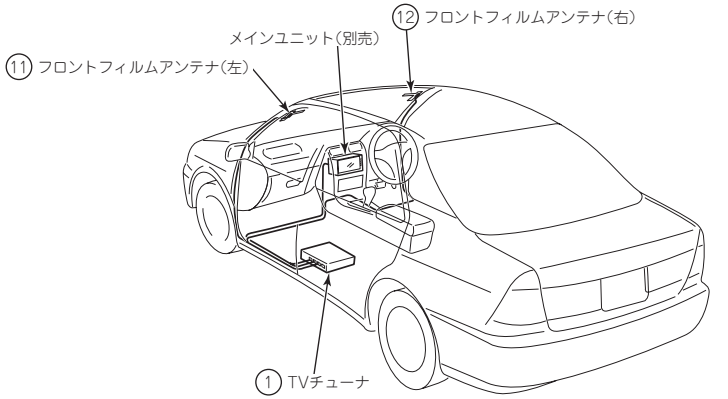
メインユニットに接続する前に各ユニットの取付要領書も参考に取付及び配線を行ってください。



アドバイス

リアアンテナを組み合わせる場合は、必ずメインユニット側でアンテナ設定の切り替えを行ってください。(フロントアンテナのみの場合は、切替は不要です。)
設定を行わない場合、適切な受信感度を得ることができません。設定方法については取扱説明書を参照ください。

取り付け概要図



アドバイス

- ●別売のメインユニットに同梱されているフィルムアンテナ(GPS、アナログTV等)については、必ず取り付けを行ってください。
- ●アンテナは断熱ガラスなどの特殊加工されたガラスや金属を含有するウィンドウフィルムに設置すると感度が極端に劣化するため取り付けできません。
- ●一部の地域において、テレビ、ラジオ等の送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、映像・音声に乱れが生じる場合があります。
  一部の車両において、フロントガラスの材質・表面処理等により、受信感度が落ちる場合があります。
- ●フロントガラスに「金属を蒸着メッキした熱反射ガラス」を採用した車種は、熱線だけでなく電波も反射するためフィルムアンテナの取り付けはできません。

フィルムアンテナの取り付け

取り付け上のご注意

⚠警告

●コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。
●視界や運転の妨げになる場所へは取り付けないでください。交通事故の原因になります。

⚠注意

●取付説明書の指示通りに作業されない場合、保安基準適合品として認められないことがあります。必ず指示通りに取り付けてください。
●お車のフロントにAM/FMラジオアンテナが内蔵されている場合は、干渉を避けるためアンテナが重ならないように貼り付けてください。

アドバイス

●フィルムアンテナは、一度貼り付けた後はがしての再貼り付けはできません。また、作業中の貼り直しをくり返すとフィルムアンテナのノリの粘着力が弱くなりますので行わないでください。

●このフィルムアンテナは、フロント部への取り付けのみとなります。その他の場所への取り付けは行なわないでください。

●取付位置表面の汚れ、水分、油分などをよく拭きとってから取り付けてください。

●フィルムアンテナ及びコードをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等揮発性のものでふかないでください。表面処理を傷める原因となります。

●フィルムアンテナは非常にデリケートなため作業時の取扱いには十分ご注意ください。

●アンテナは断熱ガラスなどの特殊加工されたガラスや金属を含有するウィンドウフィルムに設置すると感度が極端に劣化するため取り付けできません。またお車のフロントにミラータイプ等のフィルムを貼っている場合、受信感度が落ちることがあります。

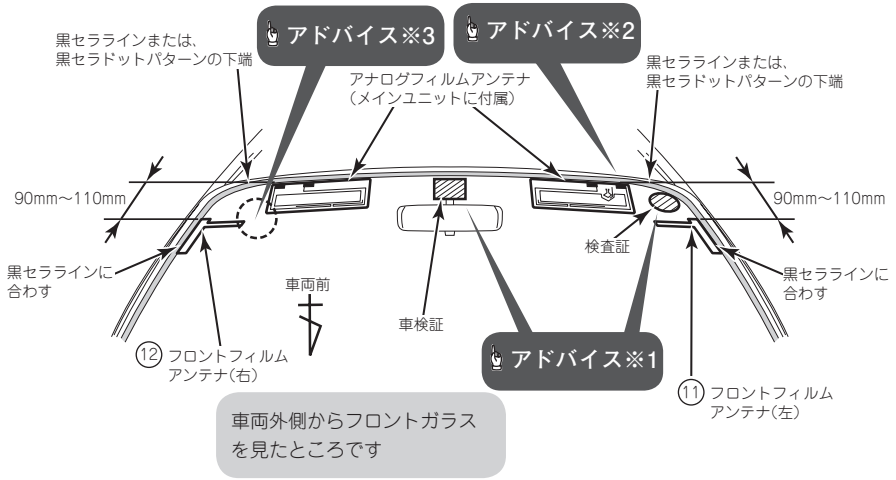
●フィルムアンテナ貼付位置は、車両ボディ、ピラー等の金属部分にあまり近付けすぎますと性能が劣化する場合がありますので取付の注意事項に従った取付作業を行ってください。

●一部の地域において、テレビ、ラジオ等の送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、映像・音声に乱れが生じる場合があります。
一部の車両において、フロントガラスの材質・表面処理等により、受信感度が落ちる場合があります。

●フロントガラスに「金属を蒸着メッキした熱反射ガラス」を採用した車種は、熱線だけでなく電波も反射するためフィルムアンテナの取り付けはできません。

－フロントフィルムアンテナ取り付け位置－

以下の項目に注意して取付作業を行ってください。



アドバイス

フロントフィルムアンテナは、フロントガラス内側の上部へ取り付けてください。その他の場所への取り付けは行わないでください。

※1
●フロントフィルムアンテナは、車検証、検査証と重ならないように位置を決めてください。
●フロントフィルムアンテナは車両フロントガラス面内側に貼り付けてください。

※2
●フロントフィルムアンテナは、黒セララインまたは、黒セラドットパターンの下端から90mm～110mm程度離して位置を決めてください。

※3
●デジタルフロントフィルムアンテナとアナログフィルムアンテナが、重ならないようにしてください。

－フロントフィルムアンテナの取付要領－

アドバイス

フロントフィルムアンテナを取り付ける前にフロントフィルムアンテナ貼付部のフロントガラス面を付属のクリーナ(布)で汚れ、水分、油分などをよく拭きとってから取り付けてください。

1 フロントフィルムアンテナの取付位置を決めるためにフロントガラス外側にフロントフィルムアンテナをあてる。

アドバイス

- ●フロントフィルムアンテナは、アナログフィルムアンテナ、車検証、検査証と重ならないように位置を決めてください。
- ●ここでは、フロントフィルムアンテナのハクリ紙をはがさないでください。
- ●フロントフィルムアンテナの取付作業は、左側を表しています。
  右側も同様に作業を行ってください。

車両外側からフロントガラスを見たところです

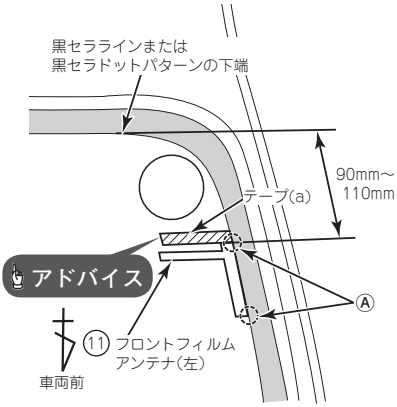
2 フロントフィルムアンテナのⒶ部を車両の黒セララインまたは黒セラドットパターンの端に合わせる。

※黒セラライン
：黒色セラミックラインの略。フロントガラス端の黒い色部分。
※黒セラドットパターン
：黒色セラミックドットパターンの略。フロントガラス端の黒色のドット(点々)部分。

3 フロントフィルムアンテナの左右両端をテープ等でマーキングする。【テープ(a)】

アドバイス

テープはフロントガラスに跡形が残らないもの(ビニールテープ等)を使用してください。



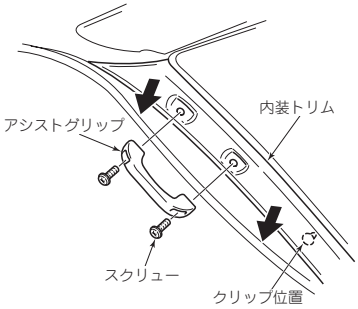
車両外側からフロントガラスを見たところです

4 車両内装トリムを取り外す。

アドバイス

- ●樹脂製の内装トリムは、クリップや、ネジ等で固定されており、無理に外すと破損したり変形する事があります。
- ●取り外し作業が困難な場合は、車のお買い上げ店や最寄りのディーラーにお問い合わせください。
  （作業工賃はお客様にご負担いただく場合があります。）

－内装トリム取り外し(例)－

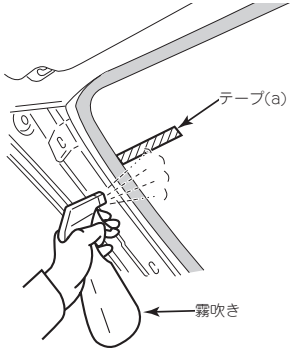


5 車両の内装に水が掛からないようにシートやタオル等を使用して保護してください。

6 車両室内側のフロントフィルムアンテナ貼り付け位置のフロントガラス面に、中性洗剤を1～2滴を加えた水を均一に霧吹きでスプレーする。

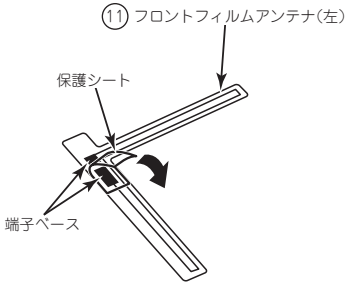
アドバイス

霧吹きは、水400～500mlの水に対し中性洗剤1～2滴を加えた物をご使用してください。



車両内側からフロントガラスを見たところです

7 フロントフィルムアンテナ端子ベースの保護シートを取り外す。

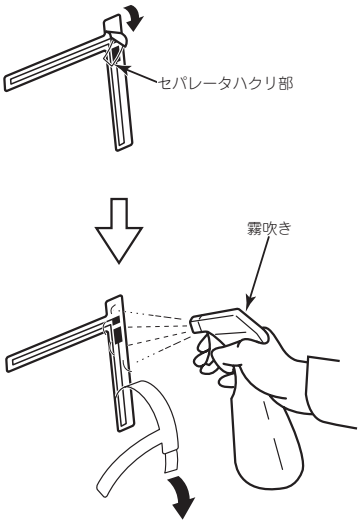


8 フロントフィルムアンテナのセパレータハクリ部からセパレータをはがす。

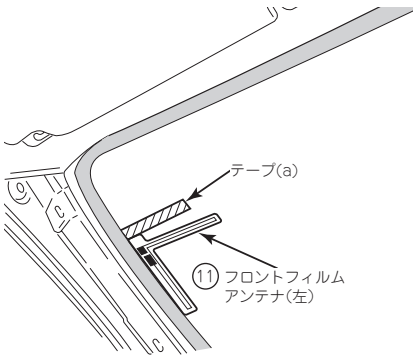
9 フロントフィルムアンテナの貼り付け面に、中性洗剤を1～2滴を加えた水を均一に霧吹きでスプレーする。

アドバイス

- フロントフィルムアンテナの貼り付け面に指紋やホコリ等がつかないように注意してください。
- 霧吹きは、水400～500mlの水に対し中性洗剤1～2滴を加えた物をご使用してください。



10 マーキング位置【テープ(a)】に合わせてフロントフィルムアンテナをフロントガラス面(車室内側)に貼り付ける。



11 シワやキズが付かないように注意してフロントフィルムアンテナとガラス面との間に入った水、気泡を付属のヘラを使用して押し出す。

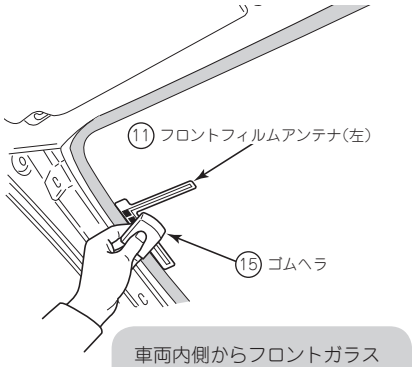
アドバイス

- フロントフィルムアンテナが動かないように押さえながら作業を行ってください。
- 気泡が抜けない場合は、針を利用して空気抜きを行ってください。

12 余分な水分をタオルや柔らかい布などで拭き取る。

アドバイス

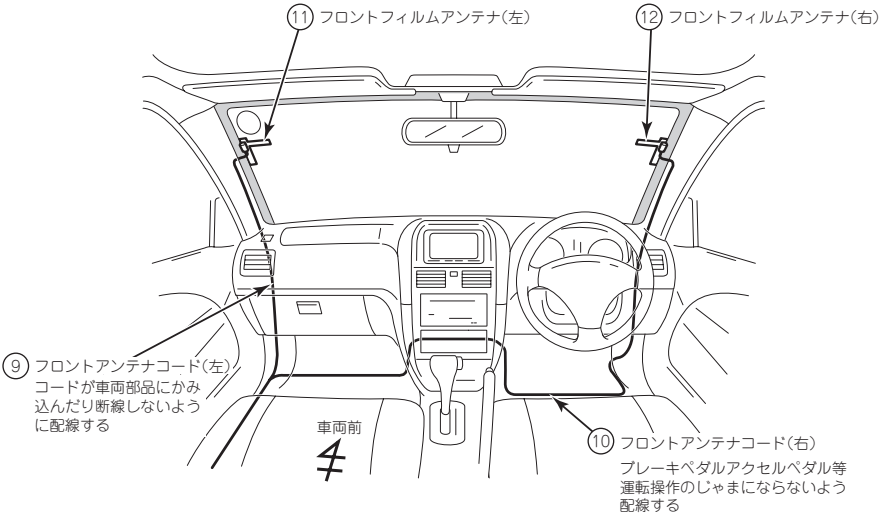
ドライヤー等で無理に乾かさないでください。フロントフィルムアンテナ破損の原因となります。



車両内側からフロントガラスを見たところです

－フロントフィルムアンテナ配線概要(例)－

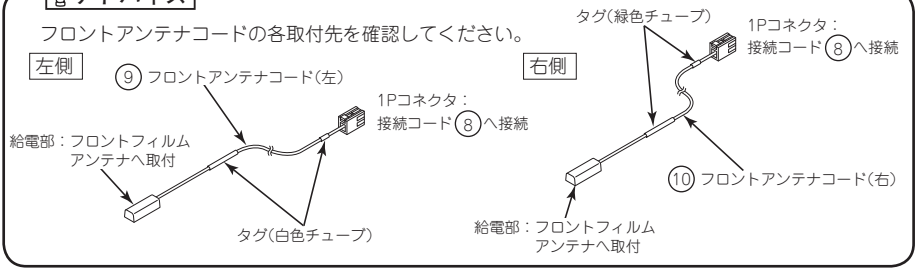
フロントフィルムアンテナコードの配線概要です。



－フロントアンテナコードの配線要領－

アドバイス

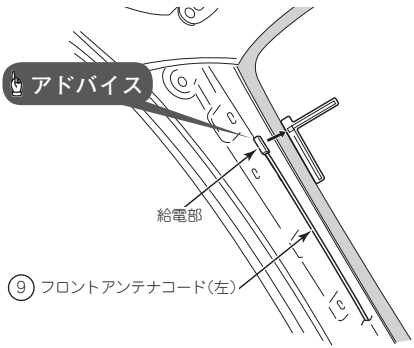
フロントアンテナコードの各取付先を確認してください。



1 フロントアンテナコード給電部をフロントフィルムアンテナの端子ベース位置に合わせフロントアンテナコードの長さを調整する。

アドバイス

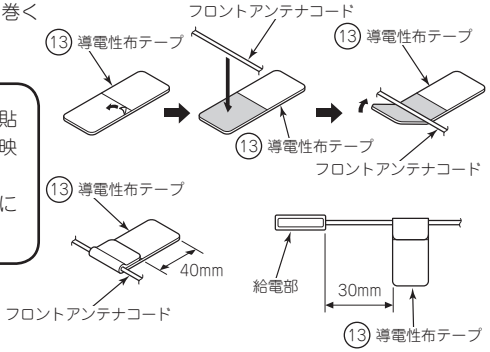
ここでは、給電部をフロントフィルムアンテナに貼り付けないでください。



2 フロントアンテナコードに導電性布テープを巻くように貼り付ける。

アドバイス

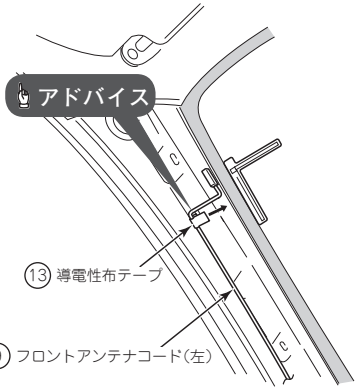
- ●導電性布テープを必ず貼り付けてください。貼り付けない場合は、受信感度が低下し、TV映りが悪くなる場合があります。
- ●導電性布テープの半分を使用して巻くように貼り付けてください。



3 導電性布テープを車両に貼り付ける。

アドバイス

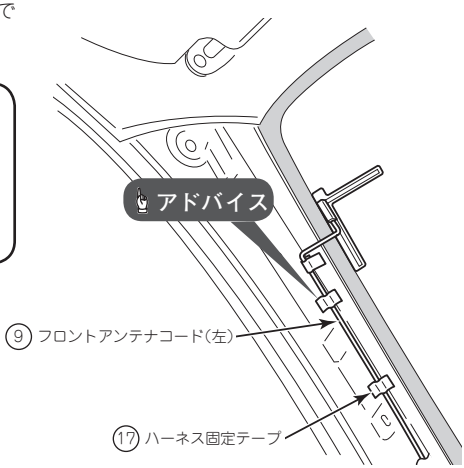
導電性布テープは、必ず車両の金属部分に全体を貼り付けてください。クリップ穴部、ネジ穴部等へは貼り付けないでください。また、ボディの塗装をはがさないでください。



4 フロントアンテナコードをハーネス固定テープで固定しながら配線する。

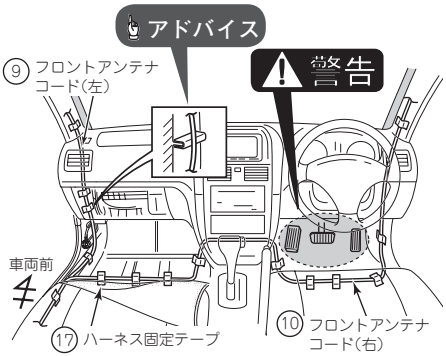
アドバイス

- ●ハーネス固定テープは、はさみ等で切って使用してください。以降も同様に行ってください。
- ●ハーネス固定テープは、車両クリップ穴や、ネジ穴等をふさがないように貼り付けてください。



アドバイス

- ●フロントアンテナコードは車両エッジ部を避けて配線してください。干渉する場合は、ハーネス固定テープをエッジ部分に貼り付けてください。
- ●右側フロントアンテナコードの取り付けは、左側と同様の手順で行ってください。



5 フロントアンテナコードをハーネス固定テープで固定しながらデジタルTVチューナ取付位置まで配線する。

⚠警告

コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。

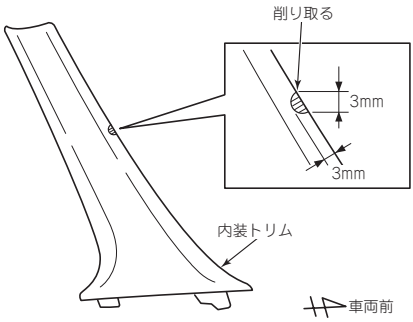
－内装トリムの加工－

6 取り外した内装トリムを車両に仮組みして、フロントアンテナコードと干渉するところを確認してください。

7 内装トリムのフロントアンテナコードと干渉するところを削りとってください。

アドバイス

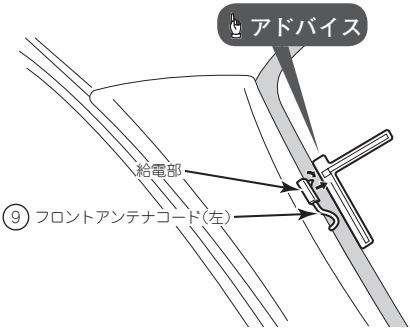
- ●内装トリムの一部を削り取った後、切り粉を取り除き削り取った箇所のバリをヤスリ等で取り除いてください。
- ●車両内装トリムを復元した際、コードにかみ込みが無い事を確認してください。
- ●図は左側を表しています。右側も同様に作業を行ってください。



8 フロントアンテナコード給電部をフロントフィルムアンテナの車両内側の端子ベースに貼り付ける。

アドバイス

- ●給電部はフロントフィルムアンテナが完全に乾いていることを確認してから貼り付けてください。乾く前に貼り付けるとはがれる場合があります。
- ●フロントアンテナコード給電部はフロントフィルムアンテナの端子ベース全体に貼り付けてください。



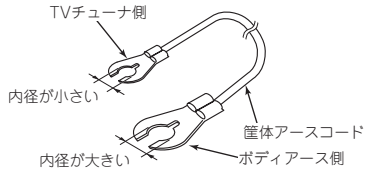
TVチューナの取り付け

－取り付け例(タッピングねじを使用する場合)－

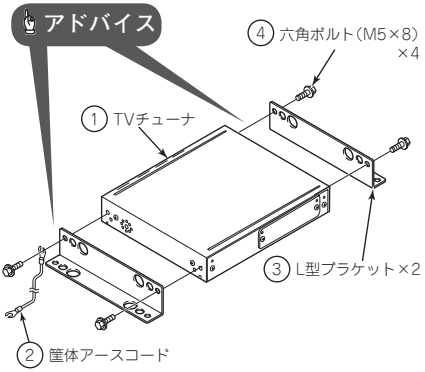
1 TVチューナにL型ブラケットと筐体アースコードを六角ボルトで取り付ける。

アドバイス

●筐体アースコードの内径が小さい方をTVチューナに取り付けてください。

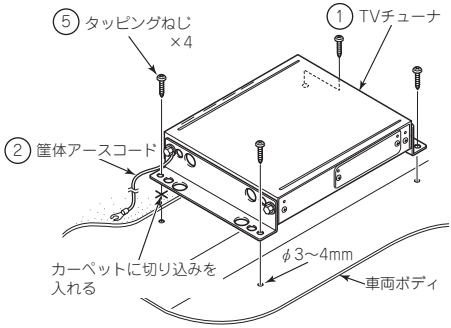


●取付ねじは、必ず付属のねじ(M5×8)を使用してください。指定のねじ以外を使用すると機器の内部が破損するおそれがあります。



2 TVチューナをシート下等に取り付ける。

3 筐体アースコードをボディアースのとれる金属部分へ固定する。



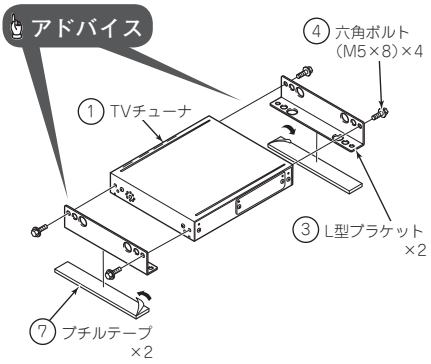
－取り付け例(ブチルテープを使用する場合)－

1 L型ブラケットにブチルテープを貼り付ける。

2 TVチューナにL型ブラケットを六角ボルトで仮止めする。

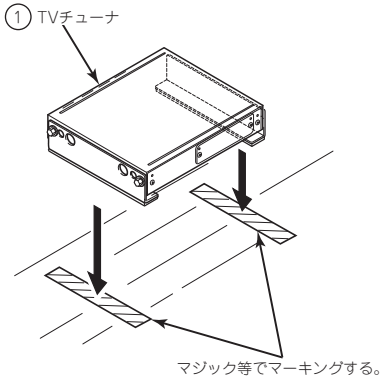
アドバイス

取付ねじは、必ず付属のねじ(M5×8)を使用してください。指定のねじ以外を使用すると機器の内部が破損する恐れがあります。



3 カーペットをめくり車両の平らな場所にTVチューナの取付位置を決める。

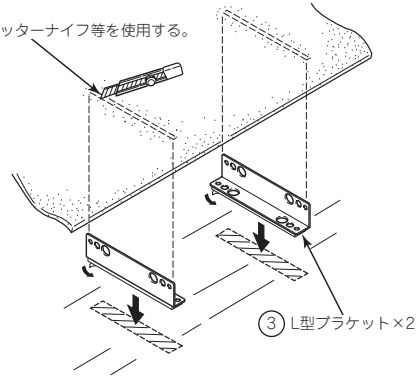
4 TVチューナ取付位置を車両フロアーにマーキングする。



5 TV チューナからＬ型ブラケットを取り外す。

6 車両フロアーのマーキングした位置にＬ型ブラケットを貼り付ける。

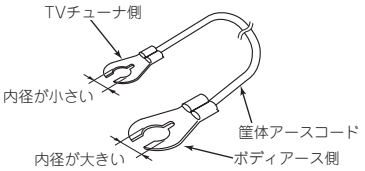
7 カーペットに切り込みを入れ、Ｌ型ブラケットをカーペットから出す。

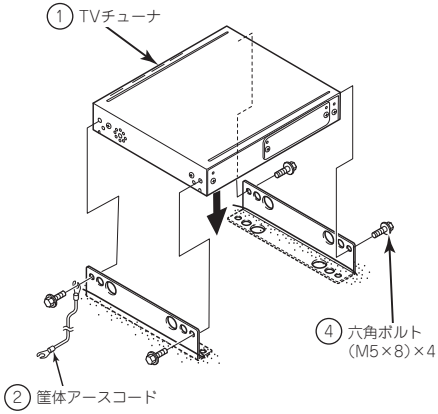


8 TVチューナにL型ブラケットと筐体アースコードを六角ボルトで取り付ける。

アドバイス

●筐体アースコードの内径が小さい方をTVチューナに取り付けてください。



●取付ねじは、必ず付属のねじ(M5×8)を使用してください。指定のねじ以外を使用すると機器の内部が破損するおそれがあります。

9 筐体アースコードをボディアースのとれる金属部分に取り付ける。